

みしま

「もちつき」のお話

稲作を行ってきた日本では、「もち」は神様の力が宿る食べ物とされ、ハレの日（お祝いの日）に「もちつき」が行われてきました。特にお正月は、年神を迎える大事な行事の日で、もちを食べて健康を願い、神様に感謝しました。また昔は家族などに丸めたもちを配る風習があり、これが「お年玉」の由来といわれています。

当町では小正月の行事「団子さし」や「サイノカミ」でも、もちを食べますね。神様の力を迎え入れ、自然の恵みに感謝し、良い年を願うということなのです。

2013

1

January

広報みしま No. 238

三島保育所で12月19日、もちつきが行われ、子どもたちが重いきねを持って一生懸命つきました。

小選挙区選出議員選挙（福島県第4区）開票結果

	候補者（届出順）	党派	得票数	当町の票数
比当	小 熊 慎 司	維新	50,036 票	467 票
当選	菅 家 一 郎	自民	71,751 票	737 票
	原 田 俊 広	共産	8,903 票	66 票
	小 川 右 善	社民	15,718 票	101 票
	計		146,408 票	1,371 票

比例代表選出議員選挙（東北）開票結果

名簿届出政党（届出順）	得票数	当町の票数	獲得議席数
社 会 民 主 党	160,367 票	67 票	0
公 明 党	398,131 票	65 票	1
幸 福 実 現 党	14,825 票	4 票	0
み ん な の 党	306,102 票	81 票	1
自 由 民 主 党	1,238,716 票	445 票	5
民 主 党	805,709 票	288 票	3
日 本 共 産 党	256,838 票	66 票	1
新 党 改 革	41,587 票	14 票	0
日 本 維 新 の 会	725,006 票	247 票	2
日 本 未 来 の 党	391,216 票	59 票	1
計	4,338,497 票	1,336 票	14

全国の投票率は戦後最低
当町は81・27%で県内3位

当町の投票率は小選挙区、比例代表ともに81・27%で、檜枝岐村の85・48%、只見町の83・55%に続き県内3位でした。しかし前回（平成21年）の85・35%を4・08ポイント下回りました。

小選挙区の全国の投票率は、前回の69・28%を9・96

当町の有権者数、投票者数および投票率
（衆議院議員小選挙区・比例代表）

区 分	男	女	計
選挙当日の有権者数（人）	819	916	1,735
うち在外有権者数（人）	4	3	7
投票者数（人）	683	727	1,410
うち在外有権者数（人）	0	0	0
棄権者数（人）	136	189	325
うち在外有権者数	4	3	7
投票率（%）	83.39	79.37	81.27



衆議院議員総選挙
開票結果

自民党が294議席の大勝
会津では菅家氏、小熊氏

衆議院議員総選挙は12月16日に投票が行われ、自由民主党が294議席を獲得しました。与党民主党は57議席と大幅に減り、政権交代となりました。また国政選挙初挑戦の日本維新の会が、54議席を得て第3党となりました。

福島県第4区の会津地方では、菅家一郎氏（自由民主党）が当選。また小熊慎司氏（日本維新の会）は比例代表で当選しました。

ポイント下回る59・32%となり、平成8年の59・65%を下回って戦後最低となりました。比例代表でも前回を9・96ポイント下回る59・31%でした。

また今回は、最高裁判所裁判官国民審査も同時に行われ、当町の投票率は78・59%でした。

1月
目次



2 **美しい町美しい風景** Vol.05
「三島のサイノカミ」

3 **衆院選開票結果**

4 **新年のごあいさつ**
二瓶隆司町長
小柴修一町議会議員

6 **TownNews7 みしまの出来事**
ふるさとの香り発送／中学卒業までに1億円！？／豊かな暮らしを示す出土品／そばと豆腐を振る舞う／家がない人はどうすれば？／復興のために「正しく恐れる」／町政について報告、意見交換

8 **叙勲** 金子喬さん

自治功労表彰

角田伊一さん、五十嵐忠義さん、五十嵐乃里枝さん、中村秀臣さん、横田源一さん、菅家藤一さん、目黒直さん、齋藤茂樹さん、佐久間源一郎さん

9 **ズームイン3**
町民記者の地元密着通信
親子で納豆寝せ／年末年始の防火、街頭で広報活動／飲酒運転根絶、防犯を呼び掛け

10 **民話**
第22話 猫と十二支
【番外】まりつき唄

入学・採用
テクノアカデミー会津校
自衛隊予備自衛官補

11 山参りの注連縄作り／桧原で新そば会／雪に囲まれて、そばざる作り（田舎暮らし体験ツアー）

12 ご寄附／1月の納税／町の人口と世帯／会津坂下警察署からのお知らせ

13 **県立宮下病院から**
新年のごあいさつ 黒沢正喜院長
これからの予定／地域ふれあいサロン予定／保健・子育て・健康づくりスケジュール

14 **三島保育所 入所のご案内**
三島町奨学生の募集

15 **母は「こだわりイタリアン」、子は「おばあちゃんの味」／「桐の里」の技にふれる**

16 **除雪にご協力を**
降雪・積雪の推移



1月15日の夜、燃え上がる炎を囲んで人々が寄り添う「サイノカミ」

美しい町
美しい風景 Vol.05

家族の幸せ、村の安泰を願う
三島のサイノカミ

国の重要無形民俗文化財（平成20年指定）

ワラを巻き付けた御神木を燃やす「サイノカミ」。小正月の1月15日、当町の各集落で行われます。豪雪の中、人々が集まり、火を囲んでお神酒を交わし、一年の無事を願います。「もちを焼いて食べると病気をしない」「炭を顔に付けると厄払いになる」などの習わしが伝えられています。

同様の火祭りは、東北や北陸などに多く残っています。「三島のサイノカミ」はその典型例として、古くからの文化を色濃く残してお

り、平成20年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。「サイノカミ」の起源については明らかではありませんが、貞享2年（西暦1685年）と、文化4年（西暦1807年）に会津の民俗文化などについて書かれた「風土記」に記録が残っています。

三島の人々にとって、「サイノカミ」は新しい年に向けて気持ちを新たにする節目の日。そして、ふるさとの情景として、深く心に刻まれています。

福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,908人(12月1日現在)



新年明けましておめでとうございます。皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。



三島町長

二瓶隆司

「美しい村」の誇りを胸に
力を合わせて着実な一歩を

年頭に当たり、あいさつを申し上げます。東日本震災から1年10カ月。被害はあまりにも大きく、先の見えない被災者の姿を見ると、一刻も早い復旧、復興を願わずにはいられません。当町においても米の全袋検査などの対応に追われ、大きな不安を抱えたままです。そして新潟・福島豪雨の影響も続き、JR只見線の復旧はめどが立ちません。また只見川の護岸工事も完了しないため、この冬も宮下町内の消雪が使用できず、皆さまに負担を強いている状況にあります。

国を取り巻く情勢に目を向けると、震災復興、円高・デフレによる経済低迷、TPP参加の是非、社会保障制度な

ど課題が山積しております。新政権にはしっかりと方向性を見出して取り組むことを望みます。国の動向は地方自治体にも大きく影響しますので、注視しながら町づくりを進めてまいります。

今年は第四次町振興計画の3年目となります。基本テーマ「住みたい。住み続けたいふるさと」を目指し、着実な一歩を前進させるために、町民の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

防災面では停電対策や公共施設耐震化を進め、産業面では風評対策や雇用対策により町内事業所の支援に努めてまいります。また長年の課題である若者住宅、そして高齢者住宅の整備については、町民

の方の参加をいただいて今年度から検討に入っております。地区づくりについては、地区支援事業補助金により引き続き支援してまいります。

昨年、生活工芸や会津桐民俗行事が評価され、「日本でも最も美しい村」連合に加盟することができました。町民の皆さまの地道な努力の成果であります。これを誇りに、一人一人の町を愛する想いをなえさせず、次の時代につないでいかなければなりません。今こそ知恵を出し合い、同じ目標を持って行動することが大切です。

終わりに、町民の皆さまが健康で安心して暮らせることをお祈り申し上げ、あいさついたします。



三島町議会議長

小柴修一

町民の皆さまと行政、町議会が一体となって
過疎化が進む当町の問題解決を目指す

新年明けましておめでとうございます。町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

常日頃、町民の皆さまにおかれましては、町議会に対してご指導ご協力をいただいていることに感謝と御礼を申し上げます。町民の皆さまが安心・安全で暮らせる町づくりのための生活基盤の充実進展をみております。平成24年を振り返りますと、4月には町議選があり、新しく8名の議員が誕生し議員活動を行っております。12月には衆議院議員総選挙があり、民主党から自民党へ政権が代わりました。日本の経済再生が進むよう期待するものであります。また世界中で大雨や干ばつ、

台風や竜巻などの自然災害が発生しております。平成23年3月11日の東日本大震災、東京電力の原発事故から1年10カ月が過ぎましたが、終息のめどすら立っていません。放射能対策、風評被害の払拭のために米の全袋検査が実施されましたが、無事検査をパスして米の安全性が確認され、安堵いたしました。

かねてより申請しております「日本でも最も美しい村」連合への加盟が認定されました。失った二度と取り戻せない農山村の景観・環境・文化を守り残すことを目的とする組織で、人々の生活の営みにより作り出されてきた地域資源が二つ以上あることが加盟の条件です。一つは生活工

芸と日本一の会津桐、もう一つは民俗行事が評価されました。しかし過疎高齢化の進む当町の現況を考えたとき、原材料の確保、技術の伝承、会津桐の植栽、会津桐タンス(株)の経営再建など難しい問題が山積しております。そのほかにも住宅環境や空き家の問題、また福祉の面では介護保険の問題などを抱えており、これらを解決していくために行政と町民が一体となって町づくりを進めることが大切です。私たち議員も政策形成能力を高め、町民の負託に応えるべく努力してまいります。

終わりに三島町の益々の発展と、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、あいさついたします。





1 ふるさとの香り発送 135 世帯の特別町民へ もち、山菜、歳時記カレンダーなど



年末恒例のもち作りを終えた西方地区の皆さん。「ふるさとの香り」の箱には、田舎のお母さんの温かさと一緒に詰められ、特別町民の皆さんへ届けられた

地場産品などの詰め合わせ「ふるさとの香り」が、135 世帯の特別町民へ届けられました。町観光協会が町の委託を受けて 12 月末に発送しました。昭和 49 年に当町が始めた「ふるさと運動」の一環として、毎年届けています。

今回の詰め合わせには、恒例のもち、山菜加工品などのほか、奥会津温泉郷協議会発行の 2013 年奥会津歳時記カレンダーを入れました。カレンダーには星賢孝さん（金山町雨沼）が撮影した四季折々の写真が掲載されています。もちは西方地区の皆さんが毎年作っており、特別町民の皆さんのお正月の食卓に上がることを思い描きながら、丁寧に詰められました。



もち 1.4 kg、山菜加工品 2 袋（たまり漬など）、なめこ缶 3 個、地鶏炊き込みご飯の素 1 袋、2013 年奥会津歳時記カレンダーを詰めた「ふるさとの香り」

2 中学卒業までに 1 億円！？ 三島小 6 年生 税金について学ぶ

三島小 6 年生の租税教室は 12 月 17 日に行われ、町民課の宗形和哉主事が税金について分かりやすく説明しました。児童たちは、消防や警察、ゴミ処理、道路などが税金で成り立っていることを学びました。また 6 年生 12 人が小学校に入学してから中学校を卒業するまでの 9 年間に、教育費約 1 億円が使われていることを知って驚いていました。宗形主事は「税金はみんなで負担し支え合うためにあります」と話しました。



税金について学ぶ三島小 6 年生の児童たち

3 豊かな暮らしを示す出土品 荒屋敷遺跡について森幸彦学芸員が講演

三島中 PTA 教養部主催の講演会「荒屋敷遺跡が語る三島のルーツ」は 12 月 17 日、交流センター山びこで行われ、県立博物館の森幸彦学芸員が講演しました。三島中の全校生徒と保護者の皆さんが参加し、ギャラリーに展示された編みかごや漆塗りの出土品を見ながら講演を聞きました。森学芸員は生徒たちに「古来の豊かな暮らしを示す貴重な品が、この三島町から出土していることを知ってほしい」と話しました。



出土品を見ながら行われた森幸彦学芸員（左）の講演会

4 そばと豆腐を振る舞う 桐寿苑を慰問 カラオケも披露

宮下そばと豆腐の会は 12 月 14 日、桐寿苑を慰問し、そばと豆腐を振る舞いました。入所者の皆さんはホールに集い、地元産のそば粉を使った打ちたてのそばと、「二代目万五郎豆腐」を味わいました。また風の会の皆さんがカラオケを披露しました。宮下そばと豆腐の会は、休耕地を活用したそば栽培や、来訪者へのおもてなしなど、宮下・荒屋敷の地区づくりを担っており、その一環として慰問活動も行っています。



そばを打つ佐久間宗一さん（左）と阿部和彦さん（右）

5 家がない人は、どうすれば？ 第 2 回住まいについて語る集い

第 2 回住まいについて語る集いは 12 月 18 日、観光交流館からんころんで行われました。第 1 回で得た意見を踏まえ、今後の住環境整備に向けた問題点などを話し合いました。例えば宅地分譲地がないことや町営住宅に余裕がないこと、選択肢がないことなど、町への居住を受け入れる体制の不備を指摘する意見が多く出ました。その中で次回以降は、何を優先して整備していくのか、具体的な立案を目指します。



住環境整備について話し合った「住まいについて語る集い」

6 復興のために「正しく恐れる」 食品と放射能に関する説明会

町民ひろば「食品と放射能に関する説明会」は 12 月 6 日、町民センターで開かれました。まず日本アイソトープ協会の二ツ川章二専任理事が、放射能の基礎知識について詳しく説明。次に消費者庁の金田直樹企画官が、食品中の放射性物質の基準値について説明しました。金田企画官は「一人一人の努力によって復興がなし得るので、放射能を測って安全を確認することを徹底していただきたい」と話しました。



放射能について学んだ町民ひろば

7 町政について報告、意見交換 地区座談会 ご参加ありがとうございました。

地区座談会は 11 月から 12 月にかけて、各地区の集会所で開かれました。町からは二瓶町長をはじめ、各課長、地区担当職員が出席しました。座談会では「日本で最も美しい村」連合加盟や、住環境整備の検討、会津桐タンス(株)の経営再建など最近の町政について説明した後、出席した町民の方からの質問や要望を受けました。町では地区座談会での意見や要望を踏まえ、平成 25 年度の事業計画と予算編成を行います。



間方集会所で開かれた地区座談会

ズームイン3 町民記者の 地元密着通信



1 親子で「納豆寝せ」 味は格別

文・写真 町民記者 渡部 和さん（大石田）



自家製の納豆を作る秦育雄さん（左）と茂子さん（右）

秦育雄さん（大石田）のお宅では、正月前に「納豆寝せ」をしました。一日かけて薪ストーブの上で煮た自家製の大豆はつやつやふっくら。育雄さんが藁で編んだ「納豆つづっこ」に、帰省中の娘・茂子さんが豆を入れていきます。出来上がった納豆つづっこは、発泡スチロールの箱に並べて藁で覆い、温度調節をしながら2、3日ほど寝かせます。「故郷の生活はやっぱり楽しい」と茂子さん。「娘が納豆好きだから、帰ってきたら寝せてやるかと思って」と育雄さん。親子で作った納豆の味は格別です。

2 年末年始の防火 街頭で広報活動

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



道の駅でチラシなどを配り、防火を呼び掛けた広報活動

町消防団本部幹部と消防署三島出張所は12月20日、県立宮下病院と道の駅尾瀬街道みしま宿において、街頭広報活動を実施しました。チラシと記念品を配り、年末年始の防火や戸締まりを呼び掛けました。

過去には昭和17年4月11日に、宮下地区のほとんどの家屋が全焼する大火が発生した歴史があります。火災は少しの不注意で大きな犠牲、損失を出してしまいます。皆さんで火の元に注意し、火災を絶対に起こさないよう注意しましょう。

3 飲酒運転根絶、防犯を呼び掛け

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）



飲酒運転根絶を呼び掛けるポスターなどを配った特別警戒活動

町防犯指導隊、町交通安全母の会、警察署三島駐在所、消防署三島出張所は12月20日、年末年始の特別警戒活動を行いました。町内の飲食店や旅館を回り、特にお酒を飲む機会が増え、気が緩む年末年始に、防犯の意識を強く持つようお願いしました。

警察署によると、町内では1月から11月までに11件の刑法犯が発生しており、特に11月だけで5件発生しました。日ごろから皆さんで注意を払い、犯罪を起こさせない町にしましょう。

叙勲

瑞宝単光章

半世紀にわたり
地域防災に尽力

金子 喬さん（宮下）

たかし

前町消防団長の金子喬さんが、秋の叙勲において瑞宝単光章を受章しました。金子さんは昭和38年に町消防団に入団以来、平成23年に退団するまでの48年間、地域防災に献身的に尽力しました。昭和51年からは本部幹部を務め、訓練部長

庶務部長、副団長などを歴任し、平成21年4月に団長に就任。平成23年3月に退団し、半世紀にわたる消防人生の区切りとなりました。長きにわたる地域防災への功労が認められ、叙勲の栄誉に輝いた金子さん。おめでとございました。



平成24年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した金子喬さん（右から2人目）。会津地方振興局の石井浩局長（左から2人目）が12月19日、役場を訪れ、勲記と勲章を金子さんに伝達した。長谷川誠町消防団長（右端）と二瓶隆司町長（左端）が立ち会った

自治功労表彰

9人を表彰

自治功労表彰式は1月4日、町民センターで行われました。各分野の功労者9人が表彰され、二瓶隆司町長から表彰状と記念品が手渡されました。



自治功労表彰を受けた皆さん。（前列左から）横田源一さん、中村秀臣さん、角田伊一さん、五十嵐忠義さん、五十嵐乃里枝さん、（後列左から）佐久間源一郎さん、齋藤茂樹さん、菅家藤一さん、目黒直さん

◆特別功労表彰

【前議会議長】

角田伊一様（川井

【議員】

五十嵐忠義様（大石田）

◆功労表彰

【前議員】

五十嵐乃里枝様（大谷

中村秀臣様（西方

【主任児童委員】

横田源一様（高清水

【元町職員】

菅家藤一様（間方

目黒直様（滝谷

◆感謝表彰

【多額の寄附】

齋藤茂樹様（宮下

佐久間建設工業㈱代表取締役

佐久間源一郎様（早戸

松原で新そば会

地元産の新そばを味わう



松原多目的集会所で開かれた新そば会

松原地区の新そば会は12月8日、約40人が参加して盛大に開かれ、手打ちそばや手作り料理を味わいました。そばは同地区で収穫されました。地元だけでなく近隣からも幅広い年齢層が集い、会話も盛り上がりしました。また若い世代へと引き継がれたそば口上も披露されました。

これから厳しい寒さが続きますが、松原では新そば会のほか、「鳥追い」や「サイノカミ」の行事などを通じた交流を大切にしています。

民話

第22話

猫と十二支

を守らせることにしたのだ。そうだが、こ知らねえ猫は、次の日、勇んで神様のどこへ行ったら、「宴会は昨日だったよ」と笑われた。

そこで、十二支に入れてもらえなかった猫は、ネズミを恨んで今でもネズミを見ると追いかけて回していんだと……というわけだ。ざっと昔、さげだ。

掲載協力者 栗城保子さん（宮下）

【番外】
まりつき唄

むかしむかし、あつたど。ある日、神様が動物たちを呼んで宴会を開くことにした。宴会の日、早く来たものの順に十二匹選んで、一年間、人間の世界を守らせることにしたい。ちゅう、おふれ出した。そこで動物たちは「我こそ一番先にいくべえ」と宴会の日を待っていた。ところが猫は、宴会の日をわすれてしまった。

「困ったなあ。ネズミに聞いてみるべ」どって、ネズミどこさ行って聞くと、ネズミはわざと一日遅い日をおせいだ。

さて、宴会の日。歩くの遅いベコは真っ先に出掛けだ。ネズミは遅れたら大変と、ベコの背中に飛び乗って神様の門さ着くと、すぐに飛び降り、ネズミ、ウシ、トラ、ウサギ、タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの十二匹に一年間ずつ人間の世界

一つ飛行機高く上げられ
二つ富士山日本一よ
三つミンミン泣く子の蟬よ
四つ世の中開けるばかり
五つ越後の石油の産地
六つ村々鎮守様
七つは成田の不動さん
八つは八幡の八幡宮
九つ高野の高野さん
十は東京開けるばかり
めくらのお子が知らぬ間に
隠れた人が一人あり
頭にトの字のついたお嬢さん
その名は何と申します

掲載協力者 細堀トミヲさん（宮下）

山参りの注連縄作り

正月行事の支度



山参りに使う注連縄を作る川島利吉さん

川島利吉さん（大石田）は12月27日、「山参り」のための注連縄を作りました。「山参り」は毎年1月2日の朝、集落に祭られている山の神様に各家の男がお参りする行事。幣束・昆布・餅・小魚をはさんだ注連縄を、祠のそばの杉の枝に掛け、一年の無事を祈ります。「山は雪が深いからカンジキを履いて登る。山参りはもう若い代に譲ったが、注連縄は毎年おれが作るんだよ」と利吉さん。山の神様に見守られ、新しい年が始まりました。

入学・採用

福島県立

テクノアカデミー会津校

入学試験のご案内

県では喜多方市にあるテクノアカデミー会津職業能力開発短期大学校、観光プロデュース学科の平成25年度入学生を募集します。

同校は福島県の観光産業を担う若い人材を育成しています。少人数制のきめ細かな指導により、毎年就職率100%の実績があります。詳しくは同校ホームページまたは電話にてお問い合わせください。

◆募集学科および人数

観光プロデュース学科
募集人数 16人

◆入学試験日程

出願期間 1月28日～2月4日

試験 2月8日

合格発表 2月15日

問 テクノアカデミー会津校

☎ 0241(27)3221

ホームページ

<http://www.tc-aizu.ac.jp/>

自衛隊

予備自衛官補

採用試験のご案内

◆採用種目

予備自衛官補 一般および技能

◆資格（平成25年7月1日時点の年齢）

一般 18歳以上34歳未満

技能 18歳以上で国家免許資格等を有する者（資格により53歳未満または55歳未満）

※募集する免許資格等についてはお問い合わせください。

◆受付期間
平成25年1月9日～4月3日

◆試験

一般 学科・口述試験

技能 小論文・口述試験

適性・身体検査

◆試験日

平成25年4月12日～15日

※いずれか1日を指定します。

◆試験会場

郡山駐屯地（予定）

※変更する場合があります。

【受験料はすべて無料です】

問 自衛隊福島地方協力本部

会津若松出張所

☎ 0242(27)6724

会津若松市門田大字恵岩字大坪57-1

雪に囲まれて、そばざる作り 第4回田舎暮らし体験ツアー



ツアーに参加し、マタタビ蔓のそばざるを作った皆さん

町観光協会主催の第4回田舎暮らし体験ツアーは12月8日・9日に行われ、首都圏や県内から10人が参加しました。今回は生活工芸館において、マタタビ蔓の「そばざる」作りを体験。参加者の皆さんは伝統工芸士の五十嵐光榮さん（滝谷）と目黒政榮さん（滝谷）、菅家藤一さん（間方）に習い、難しい編み方に苦戦しながらも二日間かけて完成させました。時期の早い大雪にも、雪国の厳しさ、美しさを体感し、感激していました。最後に完成したざるで手打ちそばを味わい、親睦を深めました。

これからの予定

1月13日㊥
三島初市 10:00～ 役場前

1月14日㊤
民俗行事「鳥追い」 桧原・滝谷地区

1月15日㊦
民俗行事「サイノカミ」 各地区

1月27日㊥
文化財防火訓練 名入地区

保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎(48) 5565



schedule

● 4カ月児健診

2月19日㊦ 11:15～ 坂下厚生総合病院

● 3歳児健診

1月16日㊤ 13:00～ 柳津町・銀山荘

● 乳幼児健診

2月26日㊦ 13:10～ 町民センター
《対象》乳児、1歳6カ月児、2歳児

● 足腰げんき教室

▶室内運動編

2月 5日㊦ 13:30～ 町民センター

▶水中運動編

1月23日㊤ 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)

● 機能訓練会

2月13日㊤ 14:00～ 福寿草

● 心の健康相談（※事前申し込み必要）

2月18日㊥ 13:30～ 福寿草
《申込先》町民課 ☎(48) 5565



県立宮下病院から

新年のごあいさつ

黒沢 正喜 院長



新しい年の始めにあたり、ごあいさつを申し上げます。昨年末には、衆議院議員選挙が行われ、政権が交代しました。今後の医療制度や福島復興をどう進めていくのか、注視していきたいと思ひます。

後援会の皆さまには、県への要望活動を実施していただき、厚く御礼を申し上げます。

要望をいただきました項目につきましては、県や会津医療の中核となります会津医療センターの支援を得て、ご期待に添えますよう努力してまいります。

また当院は昨年末、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の再審査を受けました。病院を中立的に評価する第三者機関で病院経営や医療サービスの質など、さまざまな観点から病院を評価認定するもので、会津地方の認定病院は当院を含めて3病院のみです。職員一同、力を合わせて350項目にもおよぶ膨大な資料を整理、準備しました。地域の皆さまのご支援を受け、地域に密着して医療に取り組んでいる姿勢は、高く評価をいただきました。今回の取り組みを患者さまや利用者さまへの一層のサービス向上につなげていきたいと考えております。

今後も「心ある医療」の理念のもと、地域の皆さまの役に立つ病院を目指して努力してまいります。今年もよろしくお祈ひします。本年が皆さまにとって、素晴らしい年となりますように。

地域ふれあいサロン

大石田友遊サロン

1月17日㊤ 10:00～ 大石田生活改善センター

川井友愛サロン

1月18日㊤ 10:00～ 川井集会所

☎町社会福祉協議会 ☎(52) 3344

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯（11月）

5件

クーリング・オフ制度について

クーリング・オフとは、訪問販売や電話での強引な勧誘を受けて思わず契約してしまった場合、法律で定められた期間内であれば無条件で契約を解除できる制度です。ただし、乗用車や、使用してしまった消耗品など一部適用されないものもあります。

【適用対象】

①訪問販売 8日間以内

店舗外での訪問販売（キャッチセールス、アポイントメントセールス、催眠商法では店舗内での契約を含む）

②電話勧誘販売 8日間以内

電話勧誘による販売取引

③特定継続的役務提供 8日間以内

エステ、語学教室、家庭教師、学習塾、パソコン教室、結婚相手紹介サービスなどの継続的契約

④連鎖販売取引 20日間以内

いわゆるマルチ商法

⑤業務提供誘引販売取引 20日間以内

いわゆる内職商法、モニター商法

■クーリング・オフの方法

①契約書を受け取った日を含めて、定められた期間内（上記適用対象の期間）に、ハガキ（簡易書留）などの書面を使用し、「契約の解除」「既払いの返金」「商品の引き取り」などを求める旨を記載し、契約相手に送付する。

②必ず写しを保管しておく。

③クレジット契約した場合は、信販会社にも契約解除の旨を通知する。

クーリング・オフ書面の例

通 知 書

私は貴社と次の契約をしましたが解除します。

契約日 ○年○月○日

商品名 ○○○○（○○○○円）

販売者 ○○○○○○

担当者 ○○○○

私が支払った代金○○○○円は返金してください。受け取った商品は引き取ってください。

○年○月○日

（住所・業者）○○○○代表者様

（ご自分の住所・氏名）

街頭犯罪発生状況（1月～11月）

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい	1	
忍び込み	2	
事務所荒らし	1	
出店荒らし	1	
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	18	
自販機ねらい	2	
車上ねらい	3	
部品ねらい		
強制わいせつ	1	
街頭犯罪合計	29	0
全 刑 法 犯	126	11

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

ご寄附

ありがとうございました

町へのご寄附

（ふるさと納税）

丹 野 光 明 様

（東京都世田谷区）

長谷川 市 雄 様

（会津美里町）

神 保 ヨシノ 様

（会津若松市）

1月の納税

納期限 1月31日

▶町県民税

（普通徴収）第4期

▶後期高齢者医療保険料

（普通徴収）第6期

忘れずにお納めください。

役場 町民課

町の人口と世帯

12月1日現在

人口	1,908	+3	出生	1
男	915	+3	死亡	1
女	993	±0	転入	3
世帯	835	±0	転出	0

※住民基本台帳による数値です。

三島保育所

入所のご案内

平成25年度の入所申し込みを受け付けます。

●保育の実施基準

- ① 児童の保護者が次の①～⑦のいずれかに該当し、児童を保育することができないと認められる場合で、かつ同居の親族等が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとします。
- ② 居宅外で労働することを常態としていること。
- ③ 居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
- ④ 妊娠中または出産後間がないこと。
- ⑤ 疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障害を有していること。
- ⑥ 長期にわたり疾病の状態にあるか、または精神若しくは

体に障害を有する同居の親族を常時介護していること。

- ⑥ 震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。
- ⑦ 町長が認める前各号に類する状態にあること。

●対象者

- 三島町に住所を有する小学校入学前の乳幼児
- ※平成25年度の途中入所を予定されている方もお申し込みください。

●保育時間

- 午前8時30分から午後4時30分まで
- ※土曜日は午後0時30分まで
- ただし特別な事情がある場合は、早朝・延長保育を実施します。

●保育料

保育料は保護者の所得税額または町民税額を基準として決定します。

●提出書類

- ① 保育所入所申込書
- ② 就労証明書
- (用紙は保育所および役場窓口で配布しています)

●入所申込締切

1月31日*

【申し込み・お問い合わせ】

三島保育所
☎(48) 5501
教育委員会
☎(48) 5599



平成25年度

三島町奨学生募集

町では、高等学校、大学、高等専門学校、専門学校等の学生を対象に、三島町奨学生を募集します。希望される方は期日までに出席手続きをお願いします。

●貸与資格

- ① 学生または保護者が引き続き1年以上三島町に住所を有する者
- ② 品行が正しく、学術に優れ、健康である者
- ③ 経済的理由により就学困難と認められる者

●償還期間

就職6カ月後から月賦で6年以内での償還となります。

●出願手続き

奨学生願書、奨学生推薦調書を、平成25年2月25日までに役場総務課へ提出してください。
(用紙は同課で配布しています)

●奨学資金の額(月額)

大学生 3万円以内
その他 2万円以内
いずれも無利子です。

●貸与期間

進学する学校の正規の修業期間

【出願・お問い合わせ】

役場 総務課
☎(48) 5515



朝倉玲子さん(右)に素材の味を生かす本場の調理法を習ったイタリアン料理教室



老人クラブ女性部の皆さんに地元料理を習った「おばあちゃんの味」



母は「こだわりイタリアン」、子は「おばあちゃんの味」

食を通じ、親子で学ぶ。

12月は世代を超えた料理体験教室が行われました。恒例の「おばあちゃんの味」は12月12日に行われ、三島小5年生が老人クラブ女性部の皆さんに習い、地元料理を体験しました。献立は煮物、酢の物、きんぴら、じゅうねん和え、こづゆ。そして五目蒸かしには5年生が稲作体験で収穫したもち米を使用しました。5年生の児童たちにとって、普段の食卓とは違うようでしたが、「昔からの味」というものを感じる機会となりました。

「素材は会津でイタリアン料理教室」は12月20日に行われ、三島小中にお楽しみランチBOXの皆さんなどが参加しました。講師の朝倉玲子さん(会津若松市)が家庭でも生かせる本場イタリアの調理法を教え、参加した皆さんは真剣に学んでいました。朝倉さんは「給食がないことを恵まれた環境と思って、子どものために本来の料理を作ってあげてください」と話しました。

「桐の里」の技にふれる

桐下駄の鼻緒付け体験

三島小4年生の桐下駄の鼻緒付け体験は12月18日に行われました。二瓶桐材店の二瓶幸子さん(川井)に習い、男子は男物の下駄に黒い鼻緒、女子は女物の下駄に華やかな鼻緒を付けました。児童たちは独特の結び付け方に苦戦しながら、桐下駄を完成させました。4年生は今年度、桐の分根の植え付け体験や、桐タンス工場の見学も行い、当町の桐産業について学びました。



二瓶幸子さん(左)に桐下駄の鼻緒付けを習う児童たち



除雪にご協力を 隣近所助け合って

1 自宅周りや屋根の雪は、みんなで片付けましょう。

自宅周りの雪は、隣近所で協力し合って除雪しましょう。道路上に落ちる恐れのある屋根の雪は、特に注意し、雪崩止めを付けるか、雪下ろしをして通行人に危険のないよう十分配慮してください。

2 雪に埋もれたものには目印を付けましょう。

雪に埋もれて、除雪車により被害を受ける恐れのあるものは、除雪作業員に注意を促すための旗竿などの目印を付けましょう。

3 道路に雪を出さないようにしましょう。

道路に雪を押し出すことは絶対にやめましょう。歩行者や自転車の通行に危険を及ぼす恐れがあり、交通事故にもつながります。

4 消火栓・防火水槽の除雪にご協力をお願いします。

消火栓・防火水槽はいつでも使えるように除雪にご協力ください。

5 除雪に支障のある物は撤去してください。

道路や側溝に積んである木材や石など除雪作業に支障となるものは取り除いてください。

6 玄関先の除雪は各家庭で行ってください。

除雪車が通った後、玄関先に雪が残ることがあります。除雪車は広い範囲を短時間で一斉に除雪しなければならず、玄関先までは手が回りません。ご理解の上、玄関先は各家庭で除雪をお願いします。

☎ 役場 産業建設課 ☎ (48) 5566

福島県宮下土木事務所 ☎ (52) 2311

※国道・県道の除雪に関するお問い合わせは福島県宮下土木事務所へ

当町の降雪・積雪の推移

単位/cm

月日	宮下(役場付近)			間方 積雪量
	降雪量	降雪累計	積雪量	
12/8	1	5	1	
12/9	50	55	50	69
12/10	65	120	80	112
12/11	32	152	86	130
12/12	3	155	76	113
12/13	2	157	71	
12/14	0	157	60	
12/15	1	158	55	
12/16	0	158	47	
12/17	0	158	33	
12/18	0	158	30	
12/19	5	163	31	
12/20	10	173	35	
12/21	15	188	45	
12/22	0	188	33	
12/23	1	189	30	
12/24	8	197	38	
12/25	3	200	41	
12/26	20	220	50	
12/27	17	237	55	
12/28	1	238	52	
12/29	1	239	42	
12/30	0	239	38	
12/31	0	239	36	
1/1	40	279	70	
1/2	20	299	75	
1/3	30	329	80	
1/4	25	354	89	141
1/5	2	356	83	
1/6	5	361	78	